



臨検タイムス香川

一般社団法人 香川県臨床検査技師会 発行者：高 橋 宗 孝

共用基準範囲研修会のご案内

JCCLS共用基準範囲は、日本臨床衛生検査技師会との共同事業として進められた全国共有基準範囲を基に、JCCLS基準範囲共用化委員会において、さらに検討を重ねて設定されたものです。日本医師会をはじめJCCLS会員の29学会・団体の同意あるいは賛同が得られております。

我が国では医療機関の機能分化と地域連携システムの構築及びマイナンバー制度の導入に伴う「国民の健診検査データの活用」などが進められる中で、医療機関の間での検査データの統一が求められることが予測され、これらの臨床検査情報を正確かつ有効に利用するためには、その統一の判断基準が必要であり基準範囲の共用化が望まれています。

つきましては、香川県医師会のご後援をいただき、香川県における共用基準範囲の普及の一助となるべく、下記のとおり共用基準範囲研修会を開催いたしますので、ご参加いただきますようお願い致します。

日 時：平成29年3月12日(日) 10:30～11:30 (受付 10:00～10:30)
 場 所：社会医療法人財団大樹会 総合病院回生病院 5階講堂
 〒762-0007 香川県坂出市室町三丁目5番28号
 TEL: 0877-46-1011
 内 容：「共用基準範囲とJLAC10」
 堀田 多恵子 (九州大学病院医療技術部副部長)
 参 加 費：1,000円
 連 絡 先：宮川 朱美 (医療法人財団博仁会 キナシ大林病院 検査科)
 〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井435-1
 TEL: 087-881-3663 FAX: 087-881-8022
 主 催：一般社団法人 香川県臨床検査技師会
 後 援：一般社団法人 香川県医師会

平成28年度 香川県精度管理研修会のご案内

平成28年度香川県精度管理研修会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合わせの上、御出席下さいます様ご案内申し上げます。

日 時：平成29年3月26日(日) 13:00～17:00 (受付12:40より)
 場 所：香川県社会福祉総合センター 7階 大会議室
 高松市番町一丁目10番35号 TEL: 087-835-3334
 内 容：平成28年度 香川県外部精度管理調査の報告
 連 絡 先：宮川 朱美 (医療法人財団博仁会 キナシ大林病院 検査科)
 〒761-8024 香川県高松市鬼無町藤井435-1
 TEL: 087-881-3663 (検査科直通) FAX: 087-881-8022 (検査科直通)
 E-mail: kensa@obayashihp.or.jp
 備 考：香川県より事前申し込み通知があります

研修会には平成28年度香川県精度管理調査報告書と会員は会員証を必ずご持参ください。

《研修会のご案内》

① 平成28年度 第5回 血液検査研修会

連絡責任者：杉 理恵 ☎ 087-811-3333

日 時：平成29年3月11日（土）14:00～16:00

場 所：香川県社会福祉総合センター 6階 第2研修室

内 容：「今さら聞けない 知っておきたい血液検査学」～数値変化を読み考える～

横井 浩（ベックマン・コールター株式会社）

「タイトル未定」 川上 公宏（香川県立中央病院 院長補佐 血液内科）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

② 平成28年度 第3回 臨床化学検査研修会

連絡責任者：井川加奈子 ☎ 0875-52-3366

日 時：平成29年3月23日（木）19:00～20:20

場 所：キナシ大林病院 3階会議室

内 容：血液ガスデータからみる電解質・酸塩基平衡 三沢 泰一（ラジオメーター株式会社）

参加費：200円 生涯教育研修：専門20点

***研修会の参加には、会員証を必ず御持参ください。**

注：検査技師免許取得の方で非会員の場合は、参加費として5,000円を頂きます。（四臨協は、10,000円）
尚、学生は無料。他職種の方は、会員と同額です。

研修会については、香臨技、および日臨技ホームページをご参照下さい。

第41回香川県医学検査学会のご案内

日 程：平成29年4月23日（日）

会 場：香川大学医学部

テマ：「感染症にそなえる

～検査室の役割・検査技師の使命～」



第66回 日本医学検査学会(in ちば)のご案内

日 程：平成29年6月17日（土）、18日（日）

会 場：幕張メッセ国際会議場・国際展示場7-8ホール

テマ：「Vision -夢・創造-」

～臨床検査の更なる進化と多様性を求めて～



第49回 中四国支部医学検査学会(高知県)に参加して

細川 早織 (高松赤十字病院)

11月26日(土)、27日(日)の2日間、高知市文化プラザかるぽーとで開催された「第49回中四国支部医学検査学会」に参加しました。両日とも多くの会員が参加しており、活気あふれる会場でした。特に機器展示は通路を使用していたこともあり、通り抜けるのが大変な程の賑わいでした。今回、朝一番の座長(一般演題)を担当することになっていたのですが、会場がわかりにくく、遅れるのではないかとハラハラしました。この輸血部門の一般演題ではめずらしい症例報告や業務改善についての演題が目立ち、日常業務で困った症例への対応策や取り組みなどが発表されていました。また輸血部門のシンポジウムは「輸血部門におけるチーム医療～患者中心の輸血医療を目指して～」というテーマで行われました。麻酔科の医師、病院、血液センターの検査技師がそれぞれの立場で状況を分析しました。一般的に輸血部門のチーム医療というと、輸血療法委員会や輸血ラウンドを思い浮かべますが、他にも手術や移植、自己血採取など、私たちが関わっていることは意外に多いと改めて気付きました。検査部の室内に留まっているだけでなく、外に出て他の医療スタッフとのコミュニケーションを深めることが今後重要になると確信しました。

それ以外にも興味深い聞きたい内容の企画が多く、どの会場に行こうか選択に困りましたが、血液像のスライドカンファレンスやランチョンセミナーなどに参加しました。

1日目の夜に開催された懇親会は、三翠園という趣のあるホテルで行われ、オープニングの和太鼓演奏とライトアップされた庭がよく合っていました。よさこい踊りやカツオのたたき実演など余興も楽しく、食事はカツオのたたき、カツオご飯、クジラ汁?、アイスクリン、地酒と高知の郷土色満載でした。懇親会に参加するのは初めてでしたが、意外と楽しめるな!と思いました。いろいろな施設の方と知り合える良い機会だと思いますし、お腹も満たされるので、皆さんも機会があれば、是非参加してみてください。

第50回中四国支部医学検査学会は、山口県下関市で開催されます。

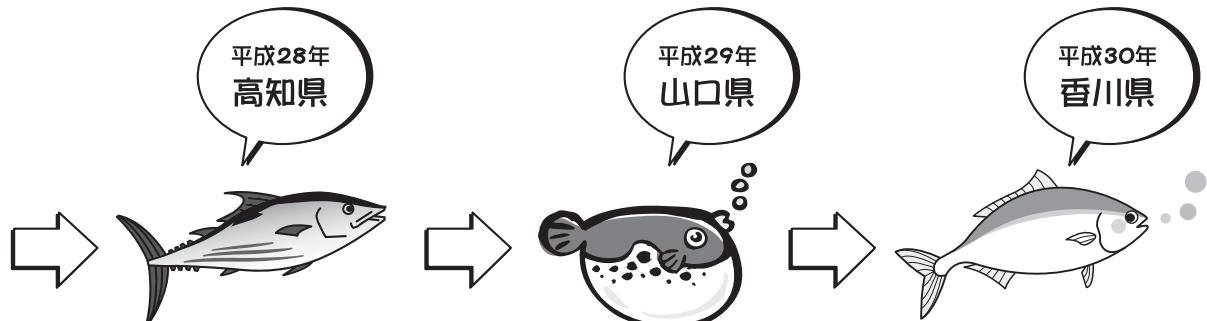
会期：平成29年11月11日(土)、12日(日)

テーマ：臨床検査 未来への躍進

サブテーマ：50年の時間(とき)を重ねて

*なお、第51回中四国支部医学検査学会(平成30年11月)は、香川県開催のため、

今年の山口県の学会にてPRを行います。皆様のご協力をお願いいたします。



日臨技 会費納入 および 入会手続き・退会申請について

平成29年度年会費は、ご登録の口座から **平成29年2月27日(月)** に年会費10,000円および香川県会費5,000円の合算された額が引き落とされますので、銀行口座の残高をご確認くださいますようお願いします。

また、平成29年度に入会（新入会・再入会）を希望される方、および平成28年度で退会を希望される方は所定の手続きを行ってください。詳しくは、日臨技ホームページをご参照ください。

香臨技 求人募集依頼の連絡先変更について

香川県臨床検査技師会の臨床検査技師求人募集依頼の連絡先が、下記のアドレスに変更になりました。
よろしくお願ひいたします。

アドレス：karaki-t@ozzio.jp (福祉部長 唐木 孝雄)

国試に

トライ！とらい！Try！

臨床検査技師国家試験・過去問題にトライ！してみてください。

ISOや介護保険、既卒の方では習っていない方も多いと思われる遺伝子問題など・・・。

（第62回臨床検査技師国家試験問題より抜粋。正解の番号に○印をしています）

1) ISO 15189による臨床検査室の継続的な品質管理の4つのサイクルに含まれるのはどれか。

1. 計画 (plan)
2. 分析・評価 (check)
3. 対応策実施 (action)
4. 検査実施・精度管理 (do)
5. 施設間比較 (comparison)

2) DNAのシークエンス解析に用いないのはどれか。

1. プライマー
2. 逆転写酵素
3. DNAポリメラーゼ
4. デオキシヌクレオシド三リン酸
5. 蛍光標識ジデオキシヌクレオシド三リン酸

3) 介護保険について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 予防給付がある。
2. 加入は任意である。
3. 介護老人保健施設への入所に適用する。
4. 第1号被保険者は40歳以上65歳未満である。
5. 要介護の認定は介護支援専門員“ケアマネージャー”が行う。

（第63回臨床検査技師国家試験の施行は平成29年2月22日（水）、合格者の発表は平成29年3月29日（水）です。）

・編集後記・

～色即是空～

厳寒の候、インフルエンザが流行するなか、今年も受験シーズン到来です。毎年思うのですが、どうしてこの時期に大事な試験が集中するのか…。受験生の皆様がベストの状態で臨めますよう祈る想いです。

さて、先月「かがわ がんサミット」の講演を聞いてきました。基調講演では、日本対がん協会会長・国立がんセンター名誉総長の垣添忠生先生が、ご自身のがん体験、そして奥様をがんで亡くされた体験をもとに「人はがんとどう向き合うか？」という演題でお話しをされました。「最愛の人を喪うことは、覚悟をはるかに凌駕する悲しみを伴う。しかし、人はどんな状況に置かれても希望があれば生きられる。」また、自身の人生観について、「ないと思えば、すべてのものがあり、あるかと見れば、すべてのものがない。(オマール・ハイヤーム)」「色即是空 空即是色(般若心経)」を引用して語られました。

今、2人に1人ががんになると言われる時代。早期発見によって治るがんもあり、検診の重要性が増してきています。

5年前の2月、幼なじみががんで亡くなりました。悲しみと悔しさが今も心に残ります。

小林万代（海部医院）

臨検タイムス原稿送付先

〒761-0104 香川県高松市高松町2365

医療法人社団 海部医院

小林 万代まで

TEL087-843-3666 FAX087-843-3667

Eメール：kobaboo0128@hotmail.co.jp

香臨技ホームページ：

ユーザー名 karingi2008 パスワード 0001

臨検タイムス香川 通巻 259 号

【発行所】

一般社団法人 香川県臨床検査技師会

〒761-0704 香川県木田郡三木町下高岡2695-13

事務局携帯電話 090-5913-1385

【編集責任者】 小林 万代 山本 直子

【編集委員】 藤重 和久 十川 直美 小河 佳織

【印 刷】 有限会社シーアンドシーイシハラ

平成29年2月印刷・発行